

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	200000	04-2992-1151
事業コード	地域医療体制支援事業	市民医療センター			
210405		グループ			
開始年度 平成 22 年度		終了年度	年度		

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市保健医療計画、第二次所沢市市民医療センター改革プラン			所沢市病院事業の設置等に関する条例・所沢市市民医療センター管理規則
	関連・類似事業	入院事業			
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針	地域医療・救急医療の充実
事業開始の背景	在宅療養者が円滑に入院できるような受入体制や診療設備を整備し、自宅に退院していただくためのリハビリテーション機能を充実させるとともに、在宅療養に向けての橋渡しの入院を受け入れることで地域医療体制の支援を行うことを目的として当該事業を開始した。 なお、地域連携部門の機能強化を図るため、平成27年度より看護科の科内室として「地域連携室」を新たに設立し、入院患者の受け入れや退院に向けた支援、外来患者等の相談業務などを行っている。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 医療機関、介護施設等からの入院の受け入れを円滑に行う。 入院患者の退院後の医療や介護の連携を図る。 外来患者の相談業務の充実。				
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市民医療センター入院患者及び通院患者とその家族				
	対象数	単位	平成 26 年度	9,397	人
			平成 27 年度	9,142	人
事業の具体的な内容及び実施方法 患者の受け入れ ・医療機関や介護施設等からの入院患者の受け入れ調整 ・地域の介護関係者との地域交流会の参加および開催 退院に向けた支援 ・退院後の医療機関や介護関係者との連携、調整 ・療養中の心理的・社会的問題に関する相談 外来患者の相談業務					

経費	会計種別	企業会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額			35,457	29,579
	決算 (見込み含む)			37,639	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人) (人)	(0.00 人) (1.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費	人	0		
	事業費合計		0	37,639	
財源内訳	一般財源	0	17,816	29,579	
	国・県支出金		42		
	その他()		19,781		

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	相談、予約、調整業務	入院、外来患者の相談及び調整	件	5,072	7,289	7,400	7,400
		入院依頼件数	医療機関、介護施設等からの入院依頼件数	件	420	436	450	450
		地域交流会への参加	地域のケアマネージャーとの交流会	人	40	69	75	75

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	紹介入院患者数	地域連携室を通して、近隣の医療機関、地域包括支援センター、介護老人福祉施設等からの紹介人数	目標値	335	367	400	
				実績	289	292	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	86	80	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	地域連携部門の機能強化を図るため看護科の科内室として「地域連携室」を設置したこと、入院・外来患者の相談、予約、調整件数が増加した。 所沢市医師会が10月から開始した、在宅療養支援ベッド確保事業に参画し、在宅療養患者が肺炎など急変した際の受け入れ態勢を確保した。	市民医療センターで受入可能な患者の症状や疾患について、他の医療機関への周知が不足していたこと、患者を受け入れるための診療機能・設備の不足などが考えられる。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向性の	事業実施方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	在宅医療後方支援の機能充実を図り、入院患者数を増やす。 広報活動の取組みを通じて、医療機関、介護施設等との連携を強化する。
			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	地域連携室を中心に他の医療機関等との連携強化により、入院患者の増加に努めるとともに、入院患者の日常生活動作維持のため、理学療法士を採用して入院中のリハビリテーションを強化していくことから予算措置について拡大が必要である。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
	患者の退院前後に家庭訪問、面談等を実施し、退院後の患者支援を行うことで、在宅での医療と介護の連携強化を図っている。 また、看護師が家庭訪問、施設訪問、地域の会合等に参加し、地域医療の現状把握に努めるとともに、理学療法士からリハビリテーションに関する知識、技術等を学び、リハビリテーション機能の強化に取り組んでいる。			今後、高齢者の急激な増加に伴い、在宅医療の必要性が増してくることから、地域の医療機関等との調整、連携を図り、紹介入院患者の受け入れを促進し、在宅医療の後方支援を担っていく。 理学療法士を採用し、自宅に退院していただくためのリハビリテーションを強化していく予定である。		
	平成28年8月4日	評価者職氏名	市民医療センター事務部総務担当 小峯英夫			

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	規制を受ける環境法令等	緊急事態
------	---------	-----------------	-------------	------